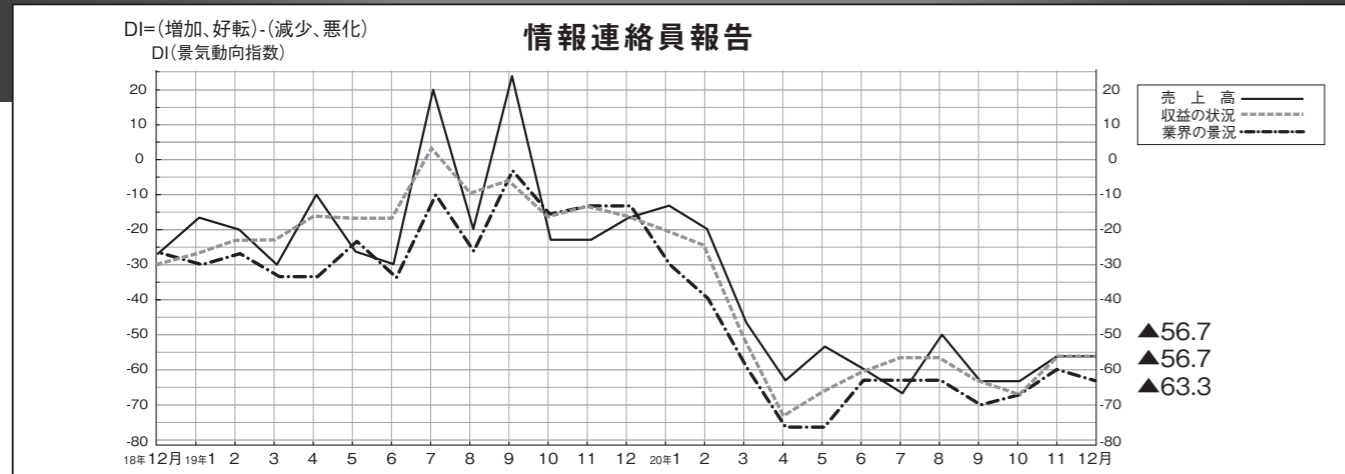


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2020年12月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>12月商況は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、食品の売上は、スーパー関係は好調、外食系への卸は不調。土産関連商品も12月は旅客減に伴い不調。歳暮商品も昨年に比べて売上減となったが、ネット販売は好調。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>出荷量は前年同月比108%だが、地域偏在がある。高知市を中心とする地区の市況は低迷したまま。</p>
<p>酒類製造</p> <p>飲食関係の自粛は、最需要期の業界にとっては大きな痛手となった。宴会、イベント、会合の自粛、観光客の減少による土産品の減少等大幅な売上減。県外出荷が6割を占めており、首都圏のコロナ禍の影響を懸念。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比91%。前年5月分の出荷から西日本豪雨災害復旧工事の発注により増加が続いていた。7~9月分は前年度より低下、10月分は持ち直し、11月分は再度低下したが12月分は再度持直した。</p>
<p>テントシート</p> <p>新型コロナ感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況。現在の状況が続くと思われる。</p>	<p>機械団地</p> <p>新型コロナ禍により受注減が続く企業がある一方で、中国経済の拡大に伴い業況は回復傾向にあるとする企業がある。団地内の景気動向にはバラツキがある。また顧客訪問の自粛、会合の中止などが続いている。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>材価・量ともに回復傾向にはあるが、確実に見通せないのが現状。回復していることは考えられるが、製品市況・需給状況が見通せない不安がある。</p>	<p>刃物製造</p> <p>売上高は前年より若干上乘せはあるもののほぼ横ばい。ネット販売及び海外向けの商品は相変わらず良いが、国内向けの品は低調である。県内小売業者への卸が引き続き悪く今後どうなるか心配である。</p>
<p>製材</p> <p>原木は不足気味であるが、在庫も抱え価格にも大きな変化なく現状維持の状態。設備、機械の老朽化、従業員不足の問題も続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>生産状況は引き続き高い水準で推移している。海外取引は停滞。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>12月に入っても通年の荷動き状況とはならず、越年となった。今までは、主原料であるPULP価格が安定していたが、ここに来て値上げの動きが出始める。2021年はより一層厳しいスタートとなりそうである。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>11月は予定していた製品大会を規模縮小し、通常の製品会としたことから取引額は大きく減少したが、12月は取引額が前年同月比99%と一時的な回復をみせた。しかしながら、先行きには不安が残る。</p>
<p>印刷</p> <p>前半、官公需・民需・県外需要共に回復傾向だったが、後半新型コロナ感染者の急増により需要が落ち込み、回復の勢いが削がれた。前年対比は相変わらず厳しい状況。来年以降は不透明。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.飲食店への時短要請のタイミングが最悪、GoToで多少戻ってきた売上げが12月は最悪となった。2.売上の減少が続き、それに伴い利益額が低下するなど新型コロナの影響が大きくなりつつある。</p>

<p>青果卸売</p> <p>年末用の一部商品は高騰したものの全体的に相場安であった。量販店の売上げはよかったが、新型コロナの影響で業務関係は壊滅状態で年を越しても心配は変わらない。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>年末に時短営業の要請が出て、「コロナに負けるな商品券」の使用期限はまだあるものの、店が開いていない状態になり、あわてて期限を延長するなど、各方面で混乱が見られた。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>マグロは例年より入荷が減り売上げに影響している。カツオは例年になく12月に入荷が好調だった。小物の入荷は例年通り。飲食店が時短営業になり売上げが大きく減少している。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>GoToキャンペーンや新型コロナにより時季、ルート変更した修学旅行などがあり、出だしは好調であった。現在GoTo停止、第3波による宿泊のキャンセルが出ており、今後も影響は増えそうだ。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>高知県で営業時間短縮要請が出て、飲食業は大ダメージを受けたが、協力金のおかげで何とか。協力金のもらえない小売店にはとても厳しい年末となった。</p>	<p>飲食店</p> <p>業種、店舗により差はあるが売上高は前年度比3割程度、緊急事態宣言以来の落ち込み。時短要請の発表以降集客が激減、夜間だけではなく昼間の集客も減った。繁忙期のため前年度との差は大きい。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格は12月から値上げに転じており市況は大きく変動した。しかし、12月の高知は新型コロナ感染が急激に増え、GoToトラベルの中止もあってか県外客が減り始め、飲食店へ営業時間の短縮要請も出て再び経済の落ち込みの不安は募る。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン前年同月対比 89%、全旅クーポンを加味して34%。12月に入り、年末年始の旅行需要が感染拡大により減少。緊急事態宣言も関東方面を中心に発令が相次ぐ。今年度の売上回復は絶望的となった。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>12月は前年比全商品平均で128%で好調だった。特に、テレビが132%、冷蔵庫121%、空気清浄機が146%であった。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和2年12月分の公共用生コン出荷量は、前月比85.0%、前年同月比101.5%、公共工事請負金額は前年同月比で87.2%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>販売面では先月までの勢いがなく減少傾向だが、顧客からの車検、整備等は受注が増え好調。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線の工事は、前年同月比85.4%となった。高知中央地区が前月の反動で約30%減となった。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>GoTo商店街事業を活用し、スタンプラリーを計画していたが、GoTo商店街のイベントについて全国一斉に一時停止となり、当組合のイベントにも影響があった。引き続き、需要の減少が心配される。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>新型コロナの影響で荷動きが鈍くなってきており、組合事業は前年にくらべると1割弱減額となった。燃料価格も少しずつ上昇しており今後の不安材料となっている。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比40.9%、台数:前年比96.1% 県内感染者の急激な増加に伴い、来街者は例年の約半分。県の特別警戒発令によって、繁忙期の飲食店に時短、閉店の店舗もみられた。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:89.2%、輸送回数:87.0%。実働率は55.3%。前月より利用者が減り、仕事を切り上げるしかなく、収入にならないことを理由に退職者が増えるのではと心配している。</p>

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動

